

施策目標

「すべての人が ともに生き ともに支えあう 安心して暮らせるまち やす」を目指して「おたがいさま」と「少しのおせっかい」をキーワードに地域福祉が進んでいます

現状・課題

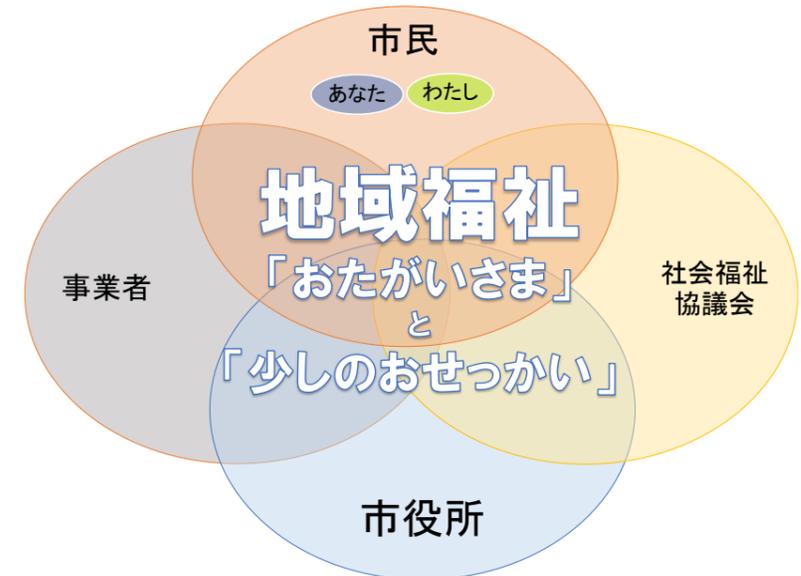
少子高齢化や核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化等の中で孤立し、生活に困難があっても相談できずに課題が深刻化するケースが増加しています。また、個人や世帯が抱える課題が複雑化・複合化しており、分野別の対応では解決が困難な課題が増加しています。

また、自然災害や感染症拡大による影響等、本人の責によらない生活のしづらさが、いつわが身に降りかかるともわからない時代になっています。

現状、野洲市では、生活困窮者等への支援として、分野を超えた包括的な相談支援体制を整備していますが、より強化し、地域住民や関係団体、事業者等と協力し、ICT の活用等をふまえながら、市民の身近なところで相談ができるよう、相談拠点を整備していく必要があります。

また、相談拠点をベースに、地域にはたらきかけ、支援を提供する側、される側にこだわらない関係性を構築し、すべての人に役割がある、参加支援や地域づくりを進めます。

■野洲市における地域福祉計画の推進体制



取組方針

主な取組

- ① 市民の主体的な地域福祉活動の推進
安全で安心して暮らせる地域づくりや地域の中の生きがい（役割）づくり（相互に認め合う関係づくり）を進めます。
- ② 安心して相談できる体制の整備
必要な福祉サービスを届けるため、包括的な拠点を整備し、市民の権利を守る仕組みづくりを進めます。
- ③ 地域と連携した福祉活動の推進
保健・医療・福祉等との連携、市民・自治会・事業者・行政等の連携・協働を進めます。

- 世代間交流などの推進、地域住民・ボランティア団体等の社会福祉活動への支援、等
- 包括的な相談拠点の整備、等
- 市民・自治会・事業者・行政のネットワークづくり、交流の拠点づくり、社会福祉協議会との連携強化 等

指標

関連する主な市の計画

指標	現状値	目標値 (5年後)	(指標のそのものや現状値、目標値等の解説)
「自分が一人暮らしの高齢者や心身に障がいのある状態になった場合でも、無関心にならず温かい支え合いの気持ちで見守ってくれる地域である」と回答した市民の割合	33.9%	50%	※当てはまる・少し当てはまる割合 わからない、無回答も割合に含まれます。

- 野洲市地域福祉計画
- 野洲市子ども・子育て支援事業計画
- 野洲市障がい者基本計画
- 野洲市障がい福祉計画・野洲市障がい児福祉計画
- 野洲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- いのち支える野洲市自殺対策計画
- 野洲市ほほえみやす 21 健康プラン
- 地域防災計画